

## ■ グループ紹介

# サンレー冷熱株式会社

## 1. 沿革

当社は、昭和22年4月設立、その後、昭和42年1月に社名をサンレー冷熱(株)と改め、今日まで燃焼機の設計、製造、販造で業界のリーダーとして発展してきました。石炭の燃焼機に始まり、オイルバーナから、更にガスバーナへと時代と共に、各種燃料に対応する燃焼機の開発に、常に業界の先導役を努め、この間、大気汚染防止へ低公害燃焼、省エネルギーへ高効率燃焼と、燃焼技術の改善に努力を重ねてきました。

業界では、数少ない小型から大型までを網羅する燃焼機メーカーとして、オイル、ガス共に、広範囲に機種を品揃えし、大容量側では、オイル2500万kcal/h、ガス4000万kcal/hのものまで製作して、ボイラ、冷温水機、焼却炉、各種工業炉などの市場に販売しております。オイル焚きでは、高粘度油の燃焼に強いロータリオイルバーナを生かして、原油、タール、廃油、その他あらゆる可燃液体の燃焼を手がけ、エネルギーの有効利用にも貢献してきました。

昭和47年には、装置技術部門を設置し、公害防止のための産業廃棄物焼却装置、有機廃液焼却処理装置、脱臭炉や、熱風発生炉などを独自技術で開発し、事業の一本の柱として確立してきました。

昭和59年より、光ファイバー応用の、炉内監視や温度計測システムの設計、製作、施工を開始することで燃焼機関連事業を拡げ、ハイテク制御を組合せて、新技術の実用化にも積極的に取り組んでおります。

このほか、新事業として真空炉などの電気炉を含む工業炉や、ハイテク分野の小型精密製品の生産設備の設計製作を行う事業部門を発足させ、時代に即した事業拡大をはかっております。

その他、合成ダイヤモンドの加工や、精密金型の製作、産業用ディスクブレーキの加工・組立などを行って、精密加工技術を培い、全社製品の高度化の基礎としています。

## 2. 事業内容

### 熱事業部

バーナ部門： ロータリオイルバーナ、ガスバーナ、

ガンタイプバーナ、各種混焼バーナ、ダクトバーナ、デジタル式O<sub>2</sub>制御システム、ガス燈、熱技術コンサルタント 装置部門：産業・実験廃棄物焼却装置、各種熱風発生炉、各種脱臭装置、排熱回収装置、ラジオアイソトープ焼却炉等。

### 設備事業部

工業炉開発室： 各種工業炉・電気炉、熱処理装置  
精機開発室： ハイテク製品製造設備、省人化設備機械、精密加工品（金型、治具等）、産業用ディスクブレーキの加工・組立

### 光システム開発室

光ファイバー応用計測装置

### ダイヤ製品加工室

合成ダイヤモンド加工（工具用）

## 3. 現況

資本金 80,000千円

従業員 140名

売上高 33億円

本社 大阪府枚方市招提田近3丁目25番地  
TEL 0720-56-0012

東京支店 東京都千代田区神田錦町3丁目20番地  
神田中央ビル内 TEL 03-291-5271

## 4. 技術開発

最近の開発商品を報告しますと、従来、規制の及ばなかった小型バーナの低NO<sub>x</sub>化に取組み、小型では必須条件である低価格（価格を上げない）を前提条件にした超低NO<sub>x</sub>ガスバーナを開発しました。一方、省エネルギーのニーズでクローズアップしたコージェネ用として、ダクトバーナを低価格、安定燃焼を掲げて発売することになりました。また、ソフト面で、ハイテク技術を駆使して、省エネルギー、省力の燃焼管理システムを、ユーザーニーズに合わせて設計、納入しております。他方、ハイテク製品の自動生産設備や、真空蒸着炉、熱処理炉などを開発し、ユーザ会社の仕様に合わせた製品を提供しております。

所在地：〒573 大阪府枚方市招提田近3丁目25

（文責：熱事業部技師長 鳥居健男）